



- 1 7日、9日 発表者 川野浩二 (かわのこうじ)  
8日 発表者 蒔苗みほ子 (まかなえみほこ)

略歴、経緯等。



- 2 現状はどうか？ 字幕：615中66 音声：6  
字幕付上映は全体の10%程度しかない。音声ガイドは1年間に5本程度。映画館はデジタル化が進み、字幕を入れたデジタルマスター (DCP)があれば、字幕は、ON、OFF出来る。  
つまり、字幕制作をすれば、全国の映画館で字幕付き上映は可能。しかし、日本語音声の日本語字幕付上映は、未だに、全国主要都市のみ、日時も限られる。



- 3 1：バリアフリー映画普及に向けた国内の動向  
障害者権利条約は2007年に署名。批准までに7年かかった。これは国内法の整備で「障害者差別解消法」ができ、来年4月1日に施行されます。



- 4 障害者権利条約 第三十条 文化的な生活、レクリエーション、余暇及びスポーツへの参加。締約国は、障害者が他の者と平等に文化的な生活に参加する権利を認めるものとし、障害者が次のことを行うことを確保するためのすべての適当な措置をとる。映画などの芸術へのアクセス保障も含まれる。



- 5



- 6 **ADA法**：1990年制定 障害を持つアメリカ人法障害による差別を禁止する適用範囲の広い公民権法の一つ  
**テレビデコーダー法**：米国内で販売される13インチ以上のTVにCC字幕の出る装置装着を義務化  
**テレコミュニケーション法**：米国放送事業者向けCC規定を定める  
**リハビリステーション法**：障害者が健常者と変わらぬ情報やデータへのアクセス保障 連邦政府のサービスにおけるアクセシビリティの確保を命じてい



- 7 ADA法 (障害を持つアメリカ人法) によって、常時字幕の表示されるシステム。アクリル板に字幕を反射させて見る。300館以上で実施されている。国の方針で毎年増加。



- 8 アメリカの最新システム  
リーガルシネマ ソニー製字幕専用メガネ 6000スクリーンに導入音声ガイドにも対応。  
残念ながら日本語表示に対応していない。  
映画館の設備投資が必要。



9 日本政府は無策。  
 (映画産業：経産省 / 映画館：厚労省 / 映画製作：文化庁)  
 省庁の壁 昨年発足した、障害者の芸術文化振興議員連盟によって、ようやく前進した。



10 発想の転換  
 メディア側、再生環境に左右されない仕組み。  
 コンテンツそのものが製作時にバリアフリーになり、そのデータが全てのメディアで使われる仕組み。



11 大きなポイント  
 情報保障のデータはクラウド上にあるので、後から追加することも入れ替えもリアルタイムに可能。



12 MASC開発「UDCast」  
 映画のマスター音声に、人間の耳には聞こえない、電子透かしを入れる。又は、音声解析技術により「時間情報」が取得出来る。  
 この時間情報に同期して、字幕や音声や手話映像等が流れる  
 技術協力：エヴィクサー社



13 2年前は、字幕を携帯端末に表示したが・・・



14 映画館では使えない。



15 昨年の東京国際映画祭では、メガネ型端末に字幕を表示した。



16 視線を動かさず、スクリーンの上（黒い部分が見やすい）で字幕表示。多言語の字幕を切り替えて表示可能。



- 17 1：最初は貸出 道行く人が普通にヘッドマウントディスプレイを持つようになったとき、映画館の設備は不要。  
2：映画のマスター音声に透かしが入れば、DVD、Blu-ray、放送、ネット配信等のメディア全てに対応出来る。

助成事業として、PC用DVDプレーヤー「おと見」によって、字幕の入っていないDVD約300ディスク分の字幕をネットから配信しているが、この技術



- 18 江戸東京博物館で約3ヶ月実施。  
iPod Touchの画面を左右のスクリーンに表示した。  
音声ガイドはラジオ送信機に接続した。



- 19 3：UDCastデモンストレーション  
スマートフォンをお持ちの方、バーコード、又はアプリストアで「UDCast」検索してインストールできます。



- 20 音声電子透かしが入っています。  
お手元のスマートフォンにUDCastが入っていれば、日本語字幕と英語字幕を切り替えて見ることができます。また、手話や音声ガイドも後からでも追加できます。



- 21 MASCは、「おと見」というパソコン用DVDプレーヤーで、字幕の入っていないDVDに字幕をネットから配信する活動を始めましたが、今後、上流である映画・映像製作時に字幕や音声ガイド等をUDCast対応し、全てのメディアで使えるように事業を推進していきます。